

## NPO 法人近畿水の塾 平成 17 年度総会次第

日時：5 月 28 日（土） 13 時 30 分～14 時 10 分

場所：大阪府環境情報センター環境情報プラザ

### 審議事項：

第 1 号議案 平成 1 5 年度事業報告及び収支決算について

第 2 号議案 平成 1 6 年度事業計画及び収支予算について

第 3 号議案 役員を選任について

なお、総会後、14 時 20 分～16 時 00 分まで、姫野雅義さん  
による「吉野川第十堰と緑のダム」の講演を予定しています。

**平成 16 年度 事業報告**  
(2004 年 4 月 1 日～2005 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 近畿水の塾における平成 16 年度の事業についての以下のとおり報告する。事業の種類については、定款にもとづき、概ね次のように分類するものとする。

事業の分類（定款第 5 条より）

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究  
...新しい気づきとその共有のために、人と水とのあるべき関係について考える、公開研究会を定期的に開催する。
2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施  
...流域内・流域間の幅広い交流のために、人と人の幅広い交流を目指し、シンポジウムや出張教室を企画・実施する。
3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助  
...具体的な問題解決のために市民的な視点、専門的な観点から提言・助言活動を行う。
4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出  
...電子メールやホームページ、ニュースレター等を通じて、幅広い情報提供を行う。

1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

継続的な公開研究会「澤井河川塾」の開催

【実施内容】平成 16 年度は淀川の整備計画と水資源、付け替え 300 年を経た大和川などを中心に展開した。定例会 11 回、拡大編 3 回（自然再生連続シンポジウム第 3 回、「旭川源流の碑」活動紹介、ワークショップ近畿水の塾振り返り）の計 14 回を実施した。近畿圏での川や水辺に関する知識を得、時の情報を共有でき、また各地での活動を知り、様々な団体との交流が図れた。

【実施場所】(財)河川情報センター会議室等

【実施期間】2004 年 4 月 1 日～2005 年 3 月 31 日

2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

大和川・淀川流域連携水環境交流会 2004 の実施

【実施内容】本交流会の実行委員会として参画した。今年度は、大阪府柏原市で実施し、1 日目は、「古代政権と大和川・淀川」と題して、東洋大学教授松浦氏による基調講演をいただいた後、「よりよい流域連携のあり方について」ワークショップを実施した。2 日目は、大和川河川敷において、河川清掃や水面利用の実践（E ボート等）を実施した。近畿地域での流域内・流域間の連携、交流を深めることができた。

【実施場所】リビエールホール 大和川河川敷

【実施日時】平成 16 年 7 月 31 日～8 月 1 日

「大和川ハイキング」～大和川の流りに沿って柏原合流点に集まろう！～

【実施内容】大和川・淀川流域連携水環境交流会2004の2日目イベントにあわせて、カヌーやサイクリングによる「石川くだり」と「大和川さかのぼり」実施した。ハイキングの途中では、川の景観と水質をテーマに、景観写真撮影や水のサンプリングを行い、柏原の河川敷にてその結果から「大和川流域マップ」を作成した。大和川の水の流れと流域を体感し、流域水関係団体との連携・交流を図ることができた。

【実施場所】石川、大和川

【実施日時】平成16年8月1日

「水の使い方を考えるシンポジウム」への講師派遣

【実施内容】国交省近畿整備局主催の「水の使い方を考えるシンポジウム」に、NPO 法人近畿水の塾から福廣理事長がパネラーとして参加。水の使い方だけでなく、水の授かり方についてや、流域の水のあり方について語った。

【実施場所】大阪

【実施日時】平成16年8月29日

猪名川・藻川水辺フォーラム&まつりEボート体験の実施

【実施内容】大人や子供の水辺に親しむ機会と体験の創出のため、猪名川・藻川水辺フォーラムのイベントとして、近畿水の塾がEボート体験を企画した。30分程度のコースをEボートで漕いだ後、体験者に気づきボードに感想を書いてもらったり、CODのパックテストを行った。乗船体験者数は約60人であった。

【実施場所】藻川右岸河川敷

【実施日時】平成16年10月3日

内川・土居川まつりに出展

【実施内容】水の塾の紹介展示、環境学習講座の実施、手作りボート競走への参加、焼きそば屋の出店を行った。水の塾の活動がアピールできた。環境学習講座については、今後検討の余地があった。

【実施場所】堺市内川・土居川

【実施日時】平成16年10月3日

### 3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

「私の水辺」大発表会の実行委員会への参画

【実施内容】平成16年度の「私の水辺」大発表会は、趣旨に賛同した教育関係者やNPO団体が参画した実行委員会形式で運営され、近畿水の塾も実行委員会として参加し、「私の水辺」大発表会の運営に協力しました。

【実施場所】大阪府

【実施日時】平成16年4月～平成17年3月

「大阪子供の水辺ネットワーク」への参画

【実施内容】「大阪子供の水辺ネットワーク」に参画し、子供のための水辺のあり方や関係イベントについての提案や他の団体との意見交換を行った。

【実施場所】大阪府

【実施日時】平成 16 年 4 月～平成 17 年 3 月

#### 4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】平成 16 年 4 月から 17 年 3 月までの間、28 回の更新を行い、常に最新情報を発信した。過去の報告も掲載しているため、会員の資料室として利用されている。また、会員メーリングリストでは、河川情報等について、会員間の意見交換・情報交換が行われた。ニュースレターは作成できなかった。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】「BYQ ネットワーク交流会 2005」に参加し、近畿水の塾の P R や他団体との交流を図った。

【実施場所】大阪

【実施日時】平成 17 年 3 月 12 日

## 平成17年度 事業計画 (2005年4月1日～2006年3月31日)

特定非営利活動法人 NPO 近畿水の塾は、平成17年度の事業について、以下のとおり計画する。

### 1. 人と水との関わりに係る調査及び研究

継続的な公開研究会「河川塾」の開催

【実施内容】・2005年度は、引き続き流域内連携や流域間連携をテーマにし、近畿における川の活動紹介や課題についての意見交換を行う。

- ・「おじいさんの仕事、おばあさんの暮らし(仮称)」と題して、古老への聞きとり調査を実施するための試行及び検討を行う。
- ・また、農業(注1)や雨水利用といった川から少し離れたテーマについても取り上げ、近畿水の塾の新しい事業の展開を模索する。

【実施場所】大阪府環境情報センター環境情報プラザ等

【実施期間】2005年4月1日～2006年3月31日(月1回程度)

### 2. 人と水との関わりに係る事業の企画及び実施

各種イベント、出前講座の実施

【実施内容】・近畿地方の代表的河川である紀ノ川河口部を舞台として、近畿各地から水環境保全に関心と関わりをもつ市民が集い、紀ノ川流域の歴史・文化を学ぶとともに、各地で進めている水環境保全活動を紹介し合い、よりよい河川環境保全と流域間連携のあり方について討論する近畿水環境交流会 in 和歌山(8/6-8/7)を開催する。一日目は、「紀ノ川の歴史(和歌山大学教育学部教授水田義一先生)」、「水環境と河川生態(奈良産業大学名誉教授御勢久右衛門先生)」、「紀ノ川流域の昆虫(和歌山大学システム工学部教授養父志乃夫先生)」についてや自由討論会、二日目はEポートレースなどの水面利用を行う。

- ・新潟大学大熊孝先生による講演「(仮称)技術にも自治がある」の開催(11月予定)
- ・猪名川まつり、内川・土居川まつりなど

【実施場所】近畿一円の河川等

【実施日時】2005年4月1日～2006年3月31日

### 3. 人と水との関わりに係る行政機関、各種事業主体、特定非営利活動法人、市民ボランティア団体等への助言、提案または技術的援助

「大阪子どもの水辺ネットワーク」での助言、提案

【実施内容】「大阪子どもの水辺ネットワーク」を通じて、イベントの企画立案や各種提言を行う。

【実施場所】大阪府域

【実施日時】2005年4月1日～2006年3月31日

#### 4. 人と水との関わりに係る専門家、実践者、市民及び各種機関等の交流の場の創出

ホームページの作成・更新、ニュースレターの作成等

【実施内容】・川に関わる活動をしている団体や個人を紹介するコーナーやコラムなどを企画し内容を充実させる。

・ニュースレターを2回程度発行する。

【実施場所】事務局

【実施日時】随時

他団体との交流やネットワークの拡大

【実施内容】・BYQスタンプラリーに継続して参画する。近畿水環境交流会 in 和歌山や拡大版河川塾をエントリーする。

・「川の日ワークショップ」等全国的なネットワークにも積極的に参画する。

・NPO「農・都共生ネットこうべ」とフォーラムやエコツアーによる連携（注1）

【実施場所】全国

【実施日時】随時

## 平成17年度 役員名簿

特定非営利活動法人近畿水の塾

役職名	氏名
理事	足立 崇博
理事	久保田 洋一
理事	佐藤 拓二
理事	白樫 誠治
理事	塚田 順一
理事	西河 嗣郎
理事	速水 成隆
理事	福廣 勝介
理事	安田 博之
監事	勝山 慶一

理事あいうえお順

## 平成16年度 役員名簿

特定非営利活動法人近畿水の塾

役職名	氏名
理事	足立 崇博
理事	佐藤 拓二
理事	下村 泰史
理事	白樫 誠治
理事	白木 茂
理事	塚田 順一
理事	西河 嗣郎
理事	速水 成隆
理事	福廣 勝介
理事	安田 博之
監事	勝山 慶一

理事あいうえお順

第3期（平成16年度）特定非営利活動に係る事業収支決算書

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成16年4月1日から平成17年3月31日

（単位：円）

科 目	決算額	予算額	差異	備 考
<b>収入の部</b>				
1 入会金・会費収入				正会員50、賛助16
正会員入会金収入	2,000	20,000	(18,000)	2千円×1人
正会員会費収入	175,000	300,000	(125,000)	5千円×35人
賛助会員会費収入	30,000	90,000	(60,000)	3千円×10口
2 寄付金収入	4,120	50,000	(45,880)	理事会後、荻野氏
3 助成金収入	300,000	300,000	0	大阪府
4 事業収入				
調査・研究事業	67,662	75,000	(7,338)	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	93,650	100,000	(6,350)	自然再生法シブ <sup>®</sup> 、土居川まつり
助言・支援事業	33,000	10,000	23,000	国交省シブ <sup>®</sup> （福廣）、猪名川フォーラム（湊井）
交流創出事業	0	0	0	
5 その他収入				
受取利息	24	0	24	
当期収入合計（A）	705,456	945,000	(239,544)	
前期繰越収支差額	1,141,782	1,150,000	(8,218)	
収入合計（B）	1,847,238	2,095,000	(247,762)	
<b>支出の部</b>				
1 事業費				
調査・研究事業	20,000	175,000	(155,000)	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	117,625	280,000	(162,375)	土居川まつり、総会講演、淀川交流会
助言・支援事業	0	30,000	(30,000)	
交流創出事業	0	30,000	(30,000)	
その他事業	0	10,000	(10,000)	
2 管理費				
広告宣伝費	0	20,000	(20,000)	
給与手当（事務局職員）	97,600	200,000	(102,400)	アルバイト
水道光熱費（事務局）	0	10,000	(10,000)	
通信費	81,633	100,000	(18,367)	NTT, Yahoo
旅費交通費	45,972	100,000	(54,028)	
消耗品費	5,650	150,000	(144,350)	事務用品費
会議費	900	10,000	(9,100)	
支払手数料等	78,735	10,000	68,735	税理士手数料・振込料等
減価償却費	42,743	42,000	743	事務局パソコン
寄付金	10,000	0	10,000	日本赤十字台風23号義援金
3 予備費	0	200,000	(200,000)	
当期支出合計（C）	500,858	1,367,000	(866,142)	
当期収支差額（A - C）	204,598	(422,000)	626,598	
次期繰越収支差額（B-C）	1,346,380	728,000	618,380	

第4期（平成17年度）特定非営利活動に係る事業収支予算書

特定非営利活動法人近畿水の塾

平成17年4月1日から平成18年3月31日

（単位：千円）

科目	予算額	前年度決算額	差異	備考
<b>収入の部</b>				
1 入会金・会費収入				正会員60、賛助20
正会員入会金収入	20	2	18	2千円×10人(新規+10として)
正会員会費収入	300	175	125	5千円×60人
賛助会員会費収入	60	30	30	3千円×20口
2 寄付金収入	30	4	26	
3 助成金収入	50	300	(250)	
4 事業収入				
調査・研究事業	75	68	7	0.5千円×10人×15回
シンポジウム等企画・実施事業	120	94	26	1千円×50人、土居川まつり70
助言・支援事業	30	33	(3)	講師謝金
交流創出事業	0	0	0	
5 その他収入				
受取利息	0	0	0	
当期収入合計(A)	685	706	(21)	
前期繰越収支差額	1,347	1,142	205	
収入合計(B)	2,032	1,848	184	
<b>支出の部</b>				
1 事業費				
調査・研究事業	100	20	80	河川塾
シンポジウム等企画・実施事業	200	118	82	土居川まつり、総会講演、淀川交流会等
助言・支援事業	10	0	10	
交流創出事業	10	0	10	ニュースレター
その他事業	10	0	10	
2 管理費				
広告宣伝費	60	0	60	パンフレット
給与手当(事務局アルバイト)	120	97	23	アルバイト(1万円/月)
水道光熱費	0	0	0	
通信費	90	81	9	NTT, Yahoo
旅費交通費	70	46	24	
消耗品費	30	6	24	
会議費	5	1	4	
支払手数料等	15	79	(64)	振込料等
減価償却費	13	43	(30)	事務局パソコン
寄付金	0	10	(10)	
3 予備費	50	0	50	
当期支出合計(C)	783	501	282	
当期収支差額(A-C)	(98)	205	(303)	
次期繰越収支差額(B-C)	1,249	1,347	(98)	